

イネ科 メダケ属

メダケ (女竹)

Pleioblastus simonii (Carriere) Nakai

自生環境

水辺、林縁 など

原産地

日本在来

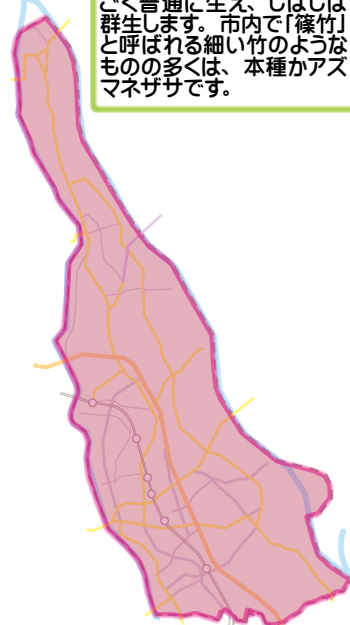
生育を脅かす要因

〔今のところ特になし〕

今のところ絶滅の心配はありません。繁茂して笹やぶとなるため、目の敵にされがちですが、野鳥や野生動物の生活空間として重要なため、ほどほどにすることが大切です。

市内の分布状況

ごく普通に生え、しばしば群生します。市内で「篠竹」と呼ばれる細い竹のようなものの多くは、本種かアスマネササです。



特徴

- ☆ 野田市周辺で一般に「篠竹」と呼ばれている細い竹のようなもののほとんどは、本種かアスマネササです。川や沼などの周りに多いことから、カワタケという別名もあります。
- ☆ 成長がとても早く、芽を出してからあっという間に高さ3~4mほどになります。地中でも旺盛に根茎をはりめぐらせて、1株あれば立派な笹やぶをつくることができます。稈（竹ササ類の茎のこと）は直径2~3cmです。葉はゆるやかに垂れ下がります。
- ☆ 株が成長して開花・結実に至るまで数十年はかかります。そのため、滅多に花を見ることはありません。結実すると株は枯れてしまいます。ちなみに、笹やぶ全部がたった1株からできているということも多く、その場合は、笹やぶ全体がいつせいに花を咲かせ、いつせいに枯れるという状態になります。

メダケは竹？ ササ？

メダケは漢字で女竹と書き、のびると細い竹のような姿になりますが、分類上はササになります。一般に竹とササのちがいとして、稈（竹ササ類の茎のこと）がのびきったときに、稈鞘（新芽のときに稈を包んでいた皮）が、剥がれ落ちてしまうものが竹、そのまま残って稈についているものがササとされます。メダケは薄茶色の稈鞘が残り、稈の緑色と稈鞘の薄茶色がストライプ状になります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介！

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

